



<外食・中食 調査レポート>

2017 年第 4 四半期の動向 客単価上昇で市場規模は+2%、客 数は 2 期連続減

2018 年 2 月 14 日

エヌピーディー・ジャパン株式会社

<外食・中食 調査レポート>

2017 年第 4 四半期の動向

客単価上昇で市場規模は+2%、客数は 2 期連続減

外食・中食市場情報サービス『CREST®^{*1}』を提供するエヌピーディー・ジャパン株式会社（東京都港区、トーマス・リンチ代表）は、外食・中食市場 2017 年第 4 四半期（10-12 月）の動向分析レポートを 2018 年 2 月 14 日に公表します。また、外食・中食市場の動向を分析・解説する無料セミナーを 2018 年 3 月 14 日(水)に開催します。

本分析レポートでは、大きく以下のことが分かります。外食・中食市場の 2017 年第 4 四半期の市場規模は 5 兆 2677 億円で前年同期比+2%成長しました。客単価が+3%上昇したことで市場規模が成長しましたが、客数は 2 期連続でマイナス成長となりました。業態別では、スーパーの客数が大きく減少しました。また、食機会別の伸び率を見ると、午前間食のみ成長、他は横ばいかマイナスとなりました。

・外食・中食市場の市場規模は 5 兆 2677 億円で 2%増

外食・中食市場全体の 2017 年第 4 四半期の成長率（図表 1）をみると、売上（市場規模）は、5 兆 2677 億円で対前年同期比 2%増、5 期連続のプラス成長となりました。この市場規模の成長は、客単価上昇（+3%）によるものです。客数（食機会数^{*2}）は 1%減で、2 期連続のマイナスとなりました。

<図表1> 外食・中食市場 成長率
2017年第4四半期 vs. 2016年第4四半期 %

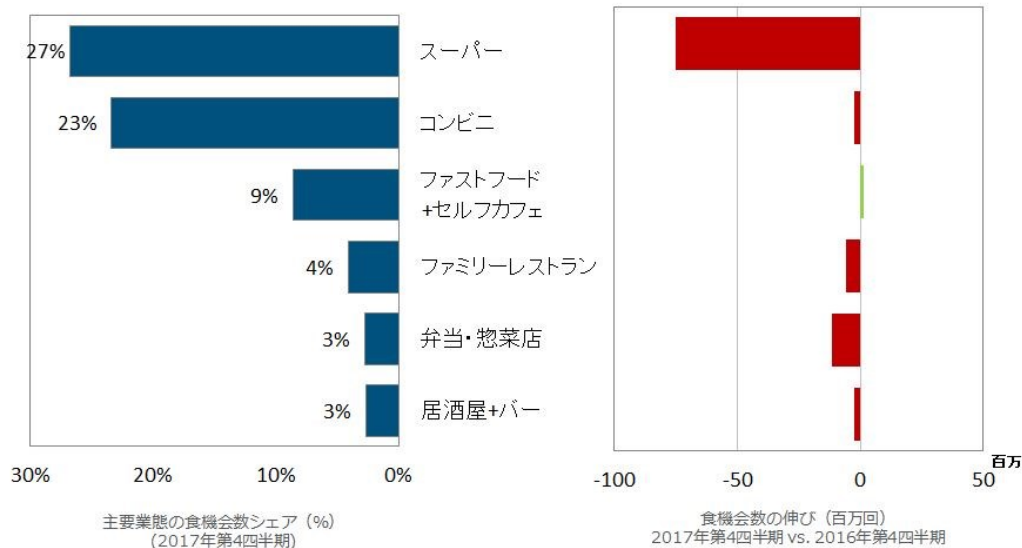


出典：エヌピーディー・ジャパン株式会社CREST®より

・スーパーの客数が大幅減

業態別の食機会の成長率（図表 2）をみると、全体の 27%を占めるシェア 1 位のスーパーマーケットが前年同期比でマイナス 75 百食機会（3.0%減）と大きく減少しました。スーパーのマイナス成長は 4 期連続で、前期には-5%と大きく減少しました。今期は外食・中食市場の食機会数減少の 70%を占め、市場全体の客数（＝食機会数）1%減少の要因はスーパーの減少の影響が大きかったことが分かります。

<図表2> 主要業態の食機会数シェア(2017年第4四半期)と食機会数の伸び

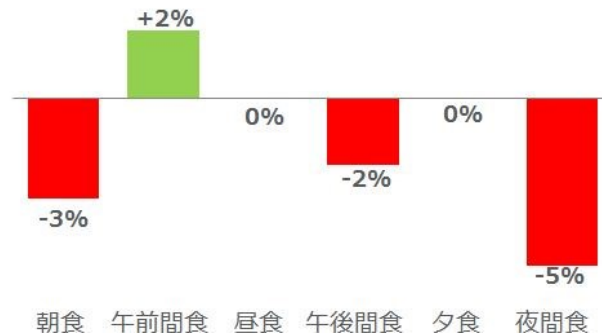


出典：エヌピーディー・ジャパン株式会社CREST®より

・午前間食が 2%増、昼食と夕食は横ばい、他はマイナス

食機会別の成長率（図表 3）をみると、午前間食が+2%増加した他は、昼食と夕食が横ばい、その他はマイナス成長でした。朝食はこの 1 年間成長が続いていましたが、今期は-3%となりました。スーパーとコンビニで朝食機会が減少したことが影響しました。

<図表3> 食機会別 食機会数成長率
2017年第4四半期 vs. 2016年第4四半期 %



出典：エヌピーディー・ジャパン株式会社CREST®より

2017 年第 3 四半期、2017 年第 4 四半期と 2 期連続客数が減少しましたが、長期トレンドで見ると、前年の 2016 年第 3 四半期、2016 年第 4 四半期は、それまで節約志向による客数低迷からプラスに転じた時期です。2016 年第 3 四半期の客数は+1%、2016 年第 4 四半期は+2%でした。特に 2016 年第 4 四半期は、ハロウィン需要が高まり、週末にあたったことで、小売りや居酒屋・バーの客足が伸びました。またクリスマスが 3 連休にあたったことで、クリスマスパーティーや食事の需要が伸びました。2017 年は、その反動でマイナスになったと言えます。2015 年第 4 四半期と比較すると、2017 年第 4 四半期の客数は、+0.6%と成長しています。

人口減少、少子高齢化の日本社会では、市場全体が成長し続けることは難しく、一進一退を繰り返すことが予想されます。タイムリーにトレンドをつかむことと同時に、長期のトレンドから市場の動きを読み取ることがますます重要になります。

本分析の詳細をもっと知りたい方へ

「外食・中食マーケットトレンドセミナー2017 年第 4 四半期編」3 月 14 日開催決定

本分析を含めた外食・中食市場全体及び主要業態（ファストフード+セルフカフェ、ファミリーレストラン、居酒屋、コンビニ、スーパー）の 2017 年第 4 四半期の動向について分析・解説するセミナーを無料で開催します。

本セミナーは、3 月 14 日（水）午後 3 時 10 分より品川にて開催します。

セミナー特典として以下の 2 つの分析とインサイトを紹介します。

「コンビニの客数減少要因、人口減少との関連性」

「女性の労働参加率、過去最高に。外食・中食への影響は？」

詳細・申込は、以下のウェブページをご覧ください。

http://www.npdjapan.com/information/info_seminar2017q4-2/

*1. **CREST®**

外食・中食市場において「いつ、誰が、どこで、何を、どのように食べ、どの程度満足したか」など消費者のあらゆる喫食動態データを、1 年 365 日、直接消費者から収集し、年間 13 万を超えるサンプル数を元に調査分析できる情報サービスです。外食市場規模、中食市場規模、客数を業態、セグメント別に把握可能です。

詳細 URL: <http://www.npdjapan.com/service/food.html>

*2. **食機会数**

外食・中食を利用した延べ食機会（朝/午前間食/昼/午後 間食/夕/夜間食）数

■ 本件に関するお問い合わせ先

エヌピーディー・ジャパン株式会社

担当：東（あずま） さやか

TEL：03-5798-7663

FAX：03-5798-7665

Email：npdjapan.info@npd.com

■ 会社概要

会社名 エヌピーディー・ジャパン株式会社

英名 NPD Japan Ltd.

設立年月日 2003 年 3 月 31 日

所在地 〒108-0074 東京都 港区高輪 3-23-17 品川センタービル 8F

TEL (03) 5798 - 7663

FAX (03) 5798 - 7665

資本金 80,000,000 円

株主 The NPD Group Inc. (100%)

代表者 トーマス・リンチ

所属団体 一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会